



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位

	令和6年1月31日(水) 岐阜県発表資料										
担当課	担 当 係	担当者	電 話 番 号								
統計課	人口労働係	中村 美紀子	内線3069 直通058-272-8184								
	八口刀側ボ		FAX058-271-5720								

# 令和5年11月分 毎月勤労統計調査結果

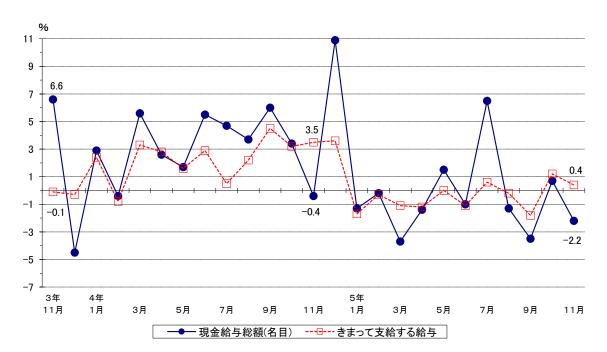
#### 賃 金

- ・11月のきまって支給する給与は、規模 5人以上で247,970円、前年同月比0.3%増で、2ヶ月連続で前年同月を上回った。また、規模30人以上では274,264円、前年同月比0.4%増で、2ヶ月連続で前年同月を上回った。
- ・特別に支払われた給与を含む現金給与総額は、規模 5 人以上で 260, 763 円、前年同月比 3.1%減で、 2  $_{7}$  月ぶりに前年同月を下回った。また、規模 30 人以上では 294, 056 円、前年同月比 2.2%減で、 2  $_{7}$  月ぶりに前年同月を下回った。

表1 賃金の動き

						現金給	与 総 額	i	きま	ミつう	て支給す・	る給与				特別に支払	われた給与
卢	産業							<u>,                                      </u>			所定内給与		所定外給与	給与			
				実	数	指 数	前月比	前年同月比	実 数		前月比	前年同月比	実 数	前年同月比	実 数	実 数	前年同月差
【事業	業所規模5.	人以上】			円		%	%		円	%	%	円	%	円	円	円
調	査 産	業	計	260	763	92. 1	4. 3	△3.1		70	0. 2	0.3	229 293	△0.4	18 677	12 793	△ 8 722
建	設		業	382	176	105.7	7. 2	7.4	380 (	064	7. 7	12.2	346 244	8.7	33 820	2 112	△ 14 544
製	造		業	314	520	99.5	6.8	1.6	283 2	210	△1.0	2.8	256 203	2.7	27 007	31 310	△ 2 858
卸	売業、	小 売	業	232	220	104.4	3.6	△1.6	226	367	1.0	3.0	214 068	0.7	12 299	5 853	△ 10 254
医	療、	福	祉	250	355	88.7	5.0	△8.8	240	188	0.7	△3.9	226 333	$\triangle 4.4$	13 855	10 167	△ 14 480
【事業	業所規模30.	人以上】															
調	査 産	業	計	294	056	91.4	5.5	△2.2	274 2	64	0.0	0.4	252 546	1.0	21 718	19 792	△ 7 974
建	設		業	419	506	98. 2	2.0	△5.8	414	476	2.5	7. 2	380 975	10.2	33 501	5 030	△ 53 788
製	造		業	349	547	103.4	9. 1	2.9	307 9	949	△0.1	3.5	276 106	3. 7	31 843	41 598	△ 448
卸	売 業 、	小 売	業	243	264	100.2	5. 5	$\triangle 1.2$	230	362	△0.1	0.2	224 275	1.0	6 087	12 902	△ 3 176
医	療、	福	祉	296	967	89. 3	0.4	△9.2	293 9	938	△0.5	△0.9	273 751	△0.9	20 187	3 029	△ 26 848

#### 図1 賃金の動き(前年同月比) -規模30人以上・調査産業計-



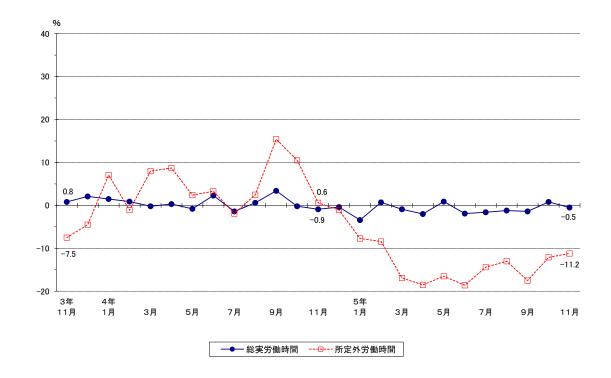
## 労働時間

- ・総実労働時間は、規模 5 人以上で 138.3 時間、前年同月比 1.8%減で、6 ヶ月連続で前年同月を下回った。 また、規模 30 人以上では 148.3 時間、前年同月比 0.5%減で、2 ヶ月ぶりに前年同月を下回った。
- ・所定外労働時間は、規模 5 人以上で 9.8 時間、前年同月比 1.0%増で、 9 ヶ月ぶりに前年同月を上回った。 また、規模 30 人以上では 11.0 時間、前年同月比 11.2%減で、 1 2 ヶ月連続で前年同月を下回った。

表2 労働時間の動き

<del></del> 産	業		総実	労 働 時	間	所定外労働時間			出	勤日	数
		実 数	指 数	前月比	前年同月比	実 数	前月比	前年同月比	実 数	前月差	前年同月差
【事業所規模 5 人 調 <b>査 産</b>	、以上】 <b>業 計</b>	時間 138.3	101. 4	% △0. 5	% ∆1.8	時間 <b>9.8</b>	% 3. 2	% 1. 0	⊟ 18. 0	□ △0.1	△0.3
建設	業	181.9	113.6	△0.7	8.5	16.7	$\triangle 2.9$	44.0	22. 2	0.2	1. 5
製 造	業	164. 9	106.7	0.9	1.7	14. 3	5. 1	0.7	19.7	0.1	0.1
卸 売 業 、	小 売 業	126.8	100.2	0.0	$\triangle 2.1$	5.5	10.1	31.1	17.5	0.0	$\triangle 0.6$
医療、	福 祉	128. 3	98.8	△0.1	$\triangle 2.5$	4.7	4.4	6.8	17. 9	0.0	△0.2
【事業所規模30人	、以上】										
調査産	業計	148.3	104. 2	0.2	△0.5	11.0	0.9	△11.2	18.5	0.0	0.0
建設	業	174.4	109. 9	1.9	6.4	16.4	$\triangle 4.0$	$\triangle 15.9$	20.3	0.2	1.0
製 造	業	169.3	108.5	1.9	$\triangle 0.3$	15.5	2.0	$\triangle 5.5$	19.8	0.4	0.0
卸 売 業 、	小 売 業	134.8	106.5	△1.6	1.5	3.9	5. 5	$\triangle$ 18.7	18. 1	$\triangle 0.2$	△0.1
医療、	福 祉	141.0	101.9	$\triangle 1.3$	2.0	6.2	0.0	3.4	18. 4	$\triangle 0.3$	0.3

#### 図2 労働時間の動き(前年同月比) 一規模30人以上・調査産業計一



### 雇用

- ・常用労働者数は、規模 5 人以上で 684, 708 人、前年同月比 0.1%減で、 3 ヶ月ぶりに前年同月を下回った。また、規模 30 人以上では 368, 513 人、前年同月比 2.2%減で、 1 1 ヶ月連続で前年同月を下回った。
- ・パートタイム労働者の比率は、規模30人以上で26.7%となり、前年同月差1.1ポイント上昇した。

表3 常用雇用の動き

						常	用 労	労 働	 者		労 働	異動
									パートタイム	パートタイム		
	産		業		実 数	指 数	前月比	前年同月比	労働者比率	労働者比率	入職率	離職率
										前年同月差		
【事業所規模5人以上】			人		%	%	%	ポイント	%	%		
調	査	産	業	計	684 708	100. 6	△ 0.1	△ 0.1	35. 1	2. 0	1. 70	1.64
建		設		業	38 576	98. 7	△ 1.1	$\triangle$ 2.4	4.7	△ 6.0	0.03	1. 16
製		造		業	177 495	99.8	△ 0.6	△ 3.1	15. 3	△ 1.7	0.66	0.62
卸	売	業 、	小 责	美業	125 967	103.8	0.9	2.3	49. 9	4.4	2. 17	1. 35
医	療		福	祉	108 990	102.8	0.3	0.8	39. 7	1.7	1.22	0.90
【事業所規模30人以上】												
調	査	產	業	計	368 513	100.6	0.4	△ 2.2	26. 7	1.1	1. 75	1. 23
建		設		業	10 973	104.6	△ 1.3	0.7	5. 9	△ 3.6	0.10	1. 43
製		造		業	126 287	99.0	△ 0.3	△ 5.4	10.0	$\triangle$ 0.2	0.72	0.54
卸	売	業 、	小 责	美業	50 259	110.8	△ 0.3	1.9	46. 3	2.6	1.45	1. 68
医	療		福	祉	55 682	97. 6	0.0	△ 0.6	28. 9	2.8	0.88	0.88

図3 常用雇用の動き(前年同月比) -規模30人以上・調査産業計-

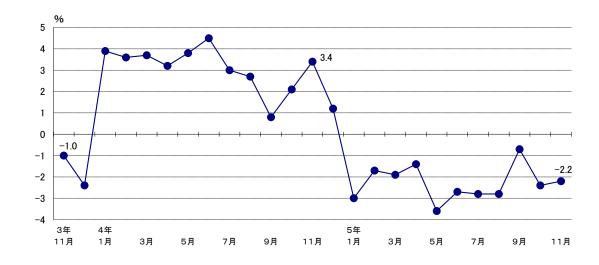
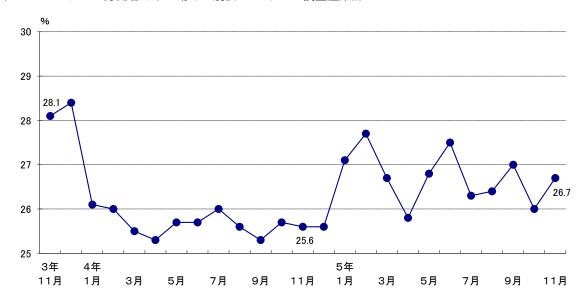


図4 パートタイム労働者比率の動きー規模30人以上・調査産業計ー



#### 【利用上の注意】

- 1 令和4年1月分結果から、賃金・労働時間及び雇用指数は令和2年平均を100とする令和2年基準を使用。 これに伴い、令和3年12月分までの指数を令和2年平均が100となるように改訂した。
- 2 令和3年12月分までの増減率は平成27年基準の指数を用いて計算をしたものである。そのため、令和2年基準の指数で計算した場合と必ずしも一致しない。
- 3 前年比などの増減率は、指数等により算出しており、実数で計算した場合と必ずしも一致しない。
- 4 調査事業所のうち 30 人以上の抽出方法は、従来の2~3年に一度行う総入替え方式から、毎年1月分調査時に行う部分入替え方式に平成 30 年から変更した。賃金、労働時間指数とその増減率は、総入替え方式のときに行っていた過去に遡った改訂はしない。常用雇用指数とその増減率は、令和4年1月分結果から労働者数推計のベンチマークを更新したことに伴い、過去に遡って改訂した。
- 5 指数の算式

基準年の平均(以下「基準数値」という。)を100とする指数を作成している。 各月の指数は、次の算式によって作成している。

各月の指数 = 
$$\frac{$$
各月の調査結果の実数  $\times$  1 0 0 基準数値

指数と各月の調査結果の実数との対応は次のとおりである。

指数の種類	各月の調査結果の実数
現金給与総額指数	各月の1人平均現金給与総額
総実労働時間指数	各月の1人平均総実労働時間数
常用雇用指数	各月の本月末常用労働者数

上記の算式により作成された指数に基づいて、前年同月比等の増減率を計算している。

- 6 現在の指数の基準時は、令和2年(2020年)である。
- 7 常用労働者とは、
  - (1) 期間を定めずに雇われている者
  - ② 1か月以上の期間を定めて雇われている者 のいずれかに該当する者をいう。
- 8 パートタイム労働者とは、常用労働者のうち、
  - ① 1日の所定労働時間が一般の労働者より短い者
  - ② 1日の所定労働時間が一般の労働者と同じで1週の所定労働日数が一般の労働者より少ない者のいずれかに該当する者をいう。また、一般労働者とは、常用労働者のうち、パートタイム労働者でない者をいう。

#### 【調査の概要】

厚生労働省が実施する、統計法に基づく基幹統計調査であり、毎月の雇用、給与及び労働時間の変動を明らかにすることを目的とするものである。

調査結果は、労働・経済政策の基礎資料として用いられている。

この調査は、日本標準産業分類に定める「鉱業、採石業、砂利採取業」「建設業」「製造業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「運輸業、郵便業」「卸売業、小売業」「金融業、保険業」「不動産業、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「医療、福祉」「複合サービス事業」「サービス業(他に分類されないもの)」に属する常用労働者5人以上の事業所のうち、厚生労働大臣が指定する約800事業所を対象とする。

#### < 環境生活部統計課ホームページ>

https://www.pref.gifu.lg.jp/page/13376.html